

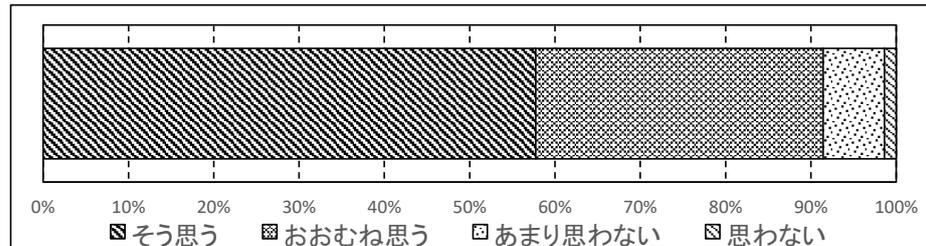
《後期》 学校生活アンケートの結果について 【児童】

白井市立池の上小学校

○ アンケート実施日 2月

1 学校は 楽しいですか。

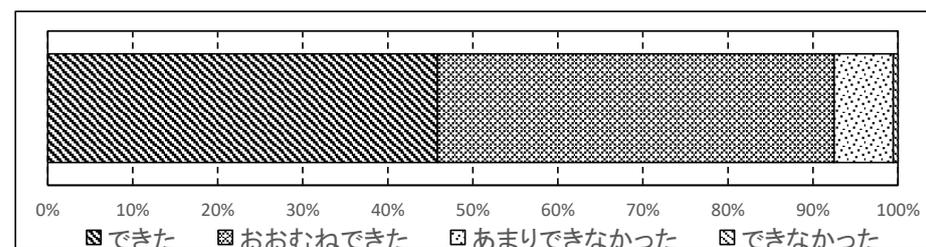
そう思う	57.7%
おおむね思う	33.7%
あまり思わない	7.2%
思わない	1.4%



「学校が楽しい」と肯定的な回答をした児童は、91.4%と前期より上回る結果となりました。後期は、運動会や校外学習等、多くの行事で児童の活躍の場が多かったことが要因の1つと考えられます。来年度は、さらに多くの児童が肯定的な回答となるよう、職員一同、『かがやく児童』を称賛していきます。

2 授業の中で、よく考えることができましたか。

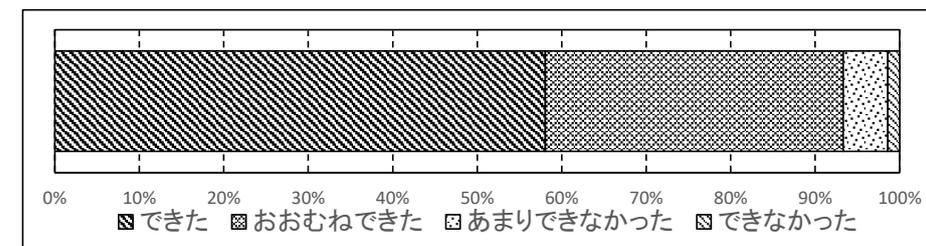
できた	45.8%
おおむねできた	46.7%
あまりできなかった	6.9%
できなかった	0.6%



「よく考えることができた」と肯定的な回答をした児童は、92.5%と前期より上回る結果となりました。今年度は、「学び合い」を通して学習を進めていくとともに、文章(問題文)を読み取る力を付けるための研究を進めていきました。必要な内容を把握し、問題解決に思考を高め合っていたことが要因であると考えます。次年度も、学校教育目標である「かながえる子」をめざし、さらなる授業改善に取り組んでいきます。

3 授業の中で、友達と話し合うことができましたか。

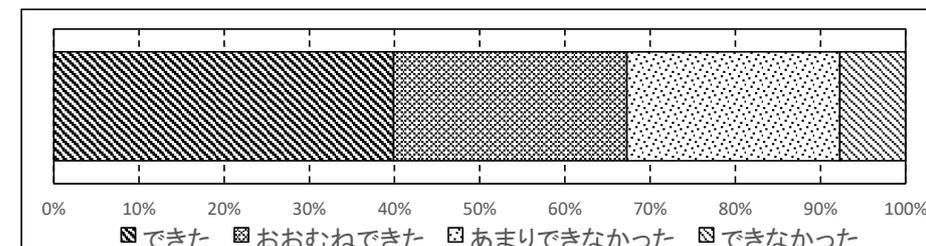
できた	58.1%
おおむねできた	35.3%
あまりできなかった	5.3%
できなかった	1.4%



「話し合うことができた」と肯定的な回答をした児童は、前期より大きく上回り93.3%となりました。後期は、全学年で共通事項として、学習形態を工夫し、ともに学び合う場を意識した授業改善に取り組んできたことが要因と考えます。次年度も、多くの児童が主体的に学習に取り組み、対話をとおして学びを深めていける授業を心掛けていきたいと思ひます。

4 後期に たくさんの本を読むことができましたか。

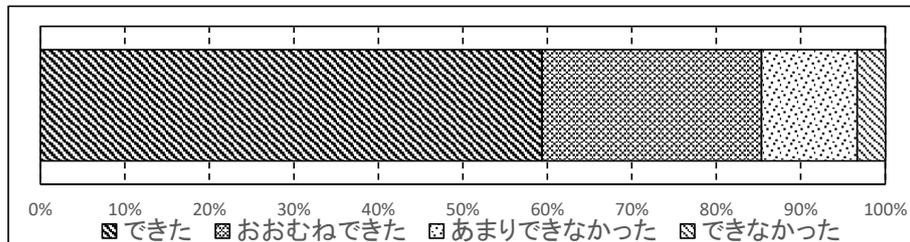
できた	39.9%
おおむねできた	27.4%
あまりできなかった	25.0%
できなかった	7.7%



肯定的な回答をした児童は、67.3%と前期よりも上回る結果となりました。後期は、図書委員会の児童が中心となって計画している「読書まつり」や新しくなった図書室に多くの児童が来たことも要因の一つです。低学年の読む機会は増えていますが、高学年になるにつれ読む機会が減っていることも8割を超えない要因と考えています。次年度は、朝のチャレンジタイムに読書の時間を設定していきたいと考えています。

5 進んで 運動(体育や外遊び)ができましたか。

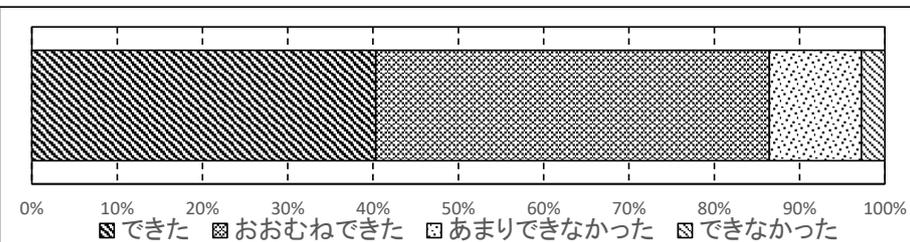
できた	59.4%
おおむねできた	26.0%
あまりできなかった	11.3%
できなかった	3.3%



「進んで運動できた」と肯定的な回答をした児童は、85.4%と前期より上回る結果となりました。後期は、運動会に加え、ぴよんぴよんクラブ、陸上練習など多くの運動を通して外で活動する機会が増えたことが要因の一つだと考えます。また、体育委員会中心に「外で遊ぼうの会」を高学年が実施し、外遊びする児童が増えています。

6 学校生活や学校行事などで 目標をもって 過ごすことができましたか。

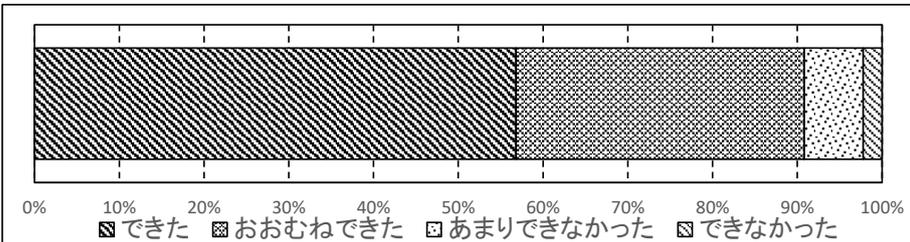
できた	40.3%
おおむねできた	46.1%
あまりできなかった	10.8%
できなかった	2.8%



肯定的な回答をした児童は、86.5%と前期と同等の結果となりました。各クラスで、継続的に目標達成に向けての呼び掛けや称賛、そして、支援を行ってきたことが要因と考えます。来年度においても、学年や学級の児童の実態を把握し、目標をもって取り組ませていきたいと思ひます。

7 自分から 先生や友達に あいさつをすることができましたか。

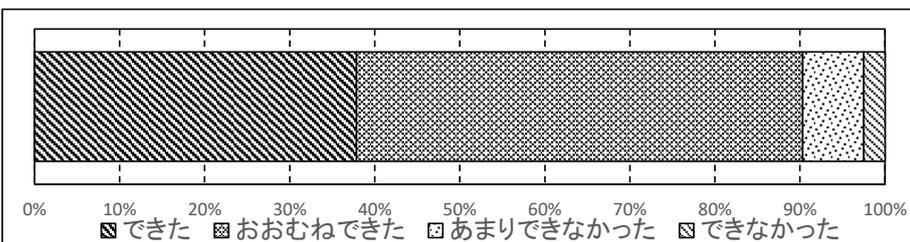
できた	56.8%
おおむねできた	34.0%
あまりできなかった	7.0%
できなかった	2.2%



肯定的な回答をした児童が、90.8%と前期とほぼ同等の結果となりました。朝のあいさつ運動を1年間、高学年が中心となって呼び掛けた結果、校内での挨拶はよくできるようになってきています。できたことへの称賛や声掛けを行い、学校全体で挨拶のできる子供たちを育てていきたいと思ひます。

8 だれに対しても同じように 優しくすることができましたか。

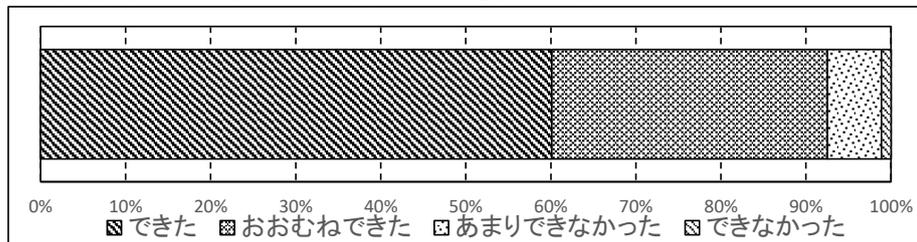
できた	37.8%
おおむねできた	52.5%
あまりできなかった	7.2%
できなかった	2.5%



肯定的な回答をした児童は、90.3%と前期よりも上回る結果となりました。後期は、異学年の交流や地域との交流する機会が多くありました。ふれあう機会の中で、「学ぶ」「みる」の体験を通して、意識できたことが要因と考えられます。学校全体でも、優しい子が非常に多いです。今後とも、困っている友達に親切に声掛けしたり、下級生に優しく接したりする機会を設け、心を育む人権教育等を推進していきます。

9 日直や係(高学年は委員会もふくむ)など みんなのために 働くことができましたか。

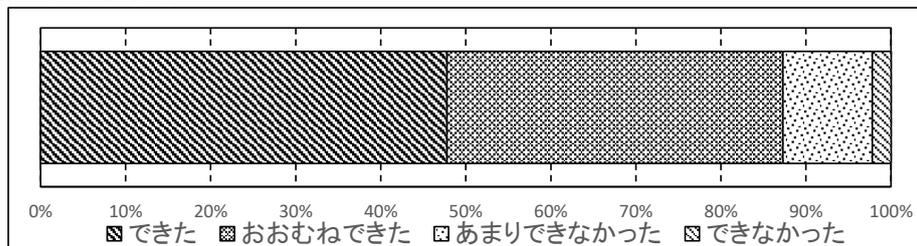
できた	60.1%
おおむねできた	32.4%
あまりできなかった	6.4%
できなかった	1.1%



肯定的な回答をした児童は、92.5%と前期より上回る結果となりました。
 高学年が全校のよい手本として、みんなのために働くことをみせてくれたことが要因の一つです。
 特に高学年の自主的な落ち葉掃きは、学校全体への模範として立派でした。今後も、高学年の活動を中心によき伝統として、在校生へ引き継いでいけるように、児童の活動をよく観察しながら、意識付けしていきます。

10 静かに そろじをすることができましたか。

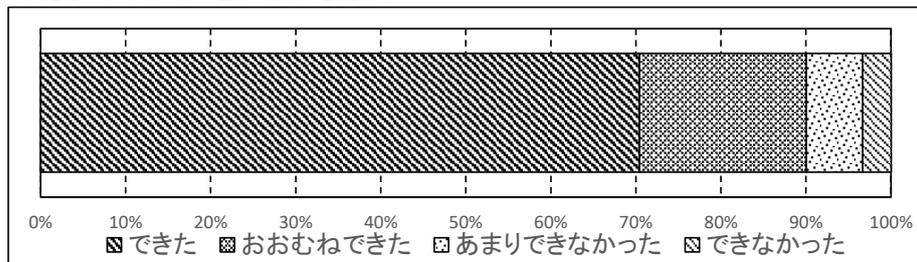
できた	47.8%
おおむねできた	39.5%
あまりできなかった	10.5%
できなかった	2.2%



肯定的な回答をした児童が、前期より大きく上回り87.3%となりました。
 各クラスでどのように掃除に取り組むかを話し合ったり、できた児童を称賛したりしていった結果だと思います。
 後期になり、掃除の時間に話をしている児童はほぼいません。次年度も、生活目標の重点項目の1つにして、清掃活動を維持していきます。

11 くつのかかとをそろえて げたばこに入れることができましたか。

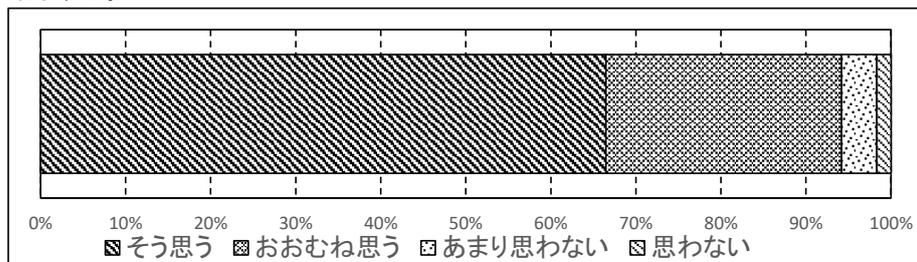
できた	70.4%
おおむねできた	19.6%
あまりできなかった	6.6%
できなかった	3.3%



肯定的な回答をした児童が、90.1%と前期よりも上回る結果となりました。
 毎週の校内放送などで委員会(児童主体)活動し、子供たち同士で意識していったことが要因と考えます。
 次年度も、身の回りの整理整頓の1つとして、継続して指導していきます。

12 先生は 話をよく聞いてくれますか。

そう思う	66.5%
おおむね思う	27.7%
あまり思わない	4.2%
思わない	1.7%



肯定的な回答をした児童は、児童数の9割を超えたものの前期よりも下回る結果となりました。
 普段の相談はもとより、アンケート(2ヶ月に1回)や教育相談(年2回)等でも、小さな声(SOS)を拾い上げて児童の安全・安心な学校に向けて取り組んでいるところです。
 今後は、紙媒体での相談からいつでもどこでも子供が発信できるタブレットを生かした活用を検討しています。児童からの声を聞き逃さずに子供たちに寄り添った学校をめざしていきたいと思ひます。